

青年研修 「タイ／都市環境管理」

対象国：タイ
受入人数：14名
受入期間：2018年1月24日～2018年2月10日



出典：外務省ホームページ

タイでは急速な経済成長によって、様々な環境問題が引き起こされています。特にバンコク首都圏地域への人口集中のため、生活排水や工業排水等による水質汚濁、森林の減少、産業廃棄物の処理など多くの問題が発生し、政府が対応を迫られています。

今回は、天然環境資源省を中心とした、環境保全分野に従事するタイ政府職員に対して、帯広・十勝における都市環境管理の現状を学び、タイでの環境問題の解決を図ることを目的とした約2週間の研修を行いました。

連日マイナス気温となる中、上下水道施設やごみ処理施設、リサイクルセンター、廃棄物処理企業等の視察を通して、様々な技術を熱心に学んでいました。研修員は、帯広・十勝において環境保全が行政、民間企業、市民の連携や協力によって効率的に行われている実態を知り、帰国後タイでも民間企業や市民を多く巻き込みながら、環境問題の解決に努めていきたいと話していました。



川から取水した水を安全に各家庭に送るまでの過程を見学



帯広の森では、森の再生や育成に係る取組みを視察



一般家庭からの廃食油を活用してバイオディーゼル燃料(BDF)を製造する工程を見学



産業廃棄物の再利用や中古自動車部品の輸出を行う企業を見学